

②

1997年1月17日

ガ。左のエガエマヨリ中止を避けずすが
のちの方。
近所の人け川がこのこととししばりして、
時速500 Kmのリニアモーターカーのつ
いってしまった。つきの日しんかくを見たら
人が人を死ねるもなかつた。それでハソコン
セイシターネットにしてかいものをしてから
すぐあくつくれた、メニードボンチーン
上がる。まくはお金がよぢつた。それでやね
にのぼり空気らく自家用UFのをみながら、
自家セリウオカヒシヤン8年せのものを
シナコーンビサ音をあげて、まわしんがんをみ
て、じしへのものがじゆのえふきらをホ
クスの中にいるて、でかける。「どうふうに
なつていればいいと思う。

1997年1月17日

①

1997年1月17日

復興後の宝ヶ崎市」

あの地じめから2年、113 113が二とかお
いたが、宝ヶ崎市でまじめら大手12復興作
ぎよラがますめられてる。

ぼくは学校でこの作文を書くこと12(左)。

ぼくは1997年から20年後のことを考
えがうしほがうこの作文を書くことにした。

ぼくのこうとうがうはこうた、「2027年、

1月17日には、宝ヶ崎市は復興作業ようも終

わり、ほってんをつづけていく。床とくどの

家がて、やんつんタリートでかためられ、家

の下にも洋字形のじしんを5分の1にするす

ぐもののがついている。壁じしんが15cmよ

うきます。床とくはうがうがなつた。今世

はハイテクエムでじしんのよちがくをするよ

うになつたのだ。とくにうるさい声はうるさい

なつた。てしまつた。ゴゴゴ………じしんは

あやつた。こんなとよりたつ。右の下の下の

すぐれたののよがけじしんの2ぐらいいまで下

10年後の宝塚市の夢

ぼくは4年の時引、こじしてきたりから大震災のこわさを知らないけど、そういう大震災にあ。いいない人が復興の手伝いしたら10年後そこにはもうこわれたビルとかは直してあると思う。せぬなが協力すれば復興は10年以内にできると思う。10年後には仮設住宅に住む人はいなくなってるし。仮設住宅はせまいから生活は不便だったと思う。10年後には大震災でこわれたビルとかも直って仮設住宅の人かなくてみんなマンションや一軒家とかで住んでほじり。全国の人が復興に協力をしてくれればあと10年以内に復興ができると思う。いやもとと早くに復興ができるかもしれない。たがう10年後くらいには仮設住宅はいなくなつてみんながすうと平和に暮らしてほしいと思う。もし10年後にまた復興がで玉ひかつたら、ぼくも協力したりと思つた。

10年後の宝塚市の夢

10年後はたぶん畠がなくなりコンシヨンが立つ、ぱい立つ宝塚市も大都市になるかもしないにどうだろと遊ぶ場所がなくなる。思うといやだなー。と思うでも別にいい遊べる場所があつたらいい。

10年後 30年後の宝塚市の夢

10年後30年後はいい。たいどう、な、ていくか。今の宝塚市はほとんどの人がゴミをそこらへんに捨てたりしている。あと、木を切ったり平気に木とかを何本も使っている。木は本当は生きている。どんどん自然がつぶされていっている。その自然をとりもどさなければならぬ。そのためにはまず自然をこわさないことを。もし自然がこわれたらもう、どうしようもなくすぐにはなあせない。その後にはポイ捨てをやめなさいことだ。よく、ぽい捨て禁止とかいろいろのにそれをもししてよくする人がいる。みんながポイ捨てなどしないでゴミ箱があるのに……。なぜだろうか。みんなめんどくさがる。

10年後はポイ捨てや自然はかいをやめてほしい

2年前に大震災が起った。町まもる、ほろ
ほろで、地下からは、水が流れたりへんた
いた。今も大地震から2年、まだ一かせつ
いませんがいる人がいる。ぼくは、その人たち
は、はやく、家にすんでほしいと思う。
30年後の宝塚市の夢は、いい者、アサート
たいと思う。今もちよとへ、わざわざ
もないとへ、わざわいたいと思う。
大震災のけ、けん
ぼくは、大震災のけ、けんとして、すぐくわ
わかった。ビデオたたかや、ガラスとかがめち
やくちゅうで、た、へんだった。
大震災をかえて、なんてこんな大さじめし
人がおきたんだと思った。ぼくたちなにも
3つこころしていいのに、もうあんた
大地震人は、もうこりこりだ。

大震災から2年目を向かえて

2年前にあ、た阪神、淡路大震災。
私達のマンションも、たいぶひ害を受けました。
2年間た、た今でも、家の中、公園など
にはまだヒビが残っています。

今度、うちのマンションの前に、またマン
ションが立ちます。地震のとき(前)には、
うちのマンションの前にも横に木々がありました
が、マンションが立ててしまうと、横
に木々がないようになります。今度地震
がきたら、うちのマンションはどうなるので
しょうか…。

私は、もう地震は起こってほしくはありませんが、それ以上に、私達人間が自然を大切
にして、土しゃくずれなどの災害をなくして
ほしりと思うました。

お母さんの時代の神戸

家のまわりをあけると、百貨ドルの夜景が、
一面に広がっていました大都会だった。
港での三輪の行幸がむしろアツト。
昔は、市電が、まちのまん中を走っていました。
とっても便利で良かった。昔は、港まつりが
あって、花電車が何じゅうだいもとあり、そ
してその電車には、いつも神戸での美人コン
テストで優勝した人が、ニス神戸として
てのってました。今は、神戸まつりとして名前
が変わっただけのパレードであった。

昔は、口ハのパニヤゲ一人気があつて、むいソニア
しかなかつたけれど、その後、おしゃあいしかつた
そら。お母さんの小学校は外国人のお友だ
ちがいつもいたそら。だから、神戸とい
う街は、国さい色々なかな港街だった。でも、
二年前のしんせきにまちがはかいじゅうた
いにたり、今でもかせつ住宅がのこつてあり
ます。この神戸にもどるには、まだまだ、時間と
費用とみんなの協力がせびひつたんだ。

大震災のけいがん

1995年1月17日午前5時46分神戸からへ
んのところ、震度7の心震がきた。けいが
こうゆれがたのしかつた。
宝塚市では、だいたい震度6が5時46分だつ
たらぼくはまだねつた。

大震災

「30年後の宝塚市」

ぼくは、30年後の宝塚市は、今の東京都と同じぐらいの都会になっていると思う。

わけは、過去から現在にかけてどんどん機械が増えてきてるから都會になっていると思う。けどそのかわり昔より自然が少ない。このことから、未来は、自然が少なくなると分かる。自然があるから人がいる、その自然をどんどん殺している。だから、自然は、人間にしかえしたした。それが阪神淡路大震災だ。もしこれがしかえしじゃながったら、きっと今まで人間がやってきた自然はかいどおりじぐらいのこわいことが必ずおきる。

それに人間もこまる、だから、30年後は、都會になるかもしれないけれどそれをふせがなければ、宝塚だけじゃなく、地球があふる。

1月17日に、1923年関東大震災に次ぐ大震災がおきた。その大震災はこつじよ現れたかいいじゅうのようだった。そのかいじゅうは家をこわし、木を折って町をどんどん破かにしている。ぼくは、げげまとっていった。かいじゅうは川を止めずまだ町を砕かにしている。

そしてかいじゅうがぼくを急にやらい始めた。ぼくは逃げた。かいじゅうが追ってきていた。少しすこまくとかいじゅうのせりがちがすいてきた。そして足で川まで死んだ。

そこで目がさめた。なんだ夢か…と思ひてそれは現實だった。家のなかはぐちゃぐちゃに、家の庭では小さい木が折れていた。

でもただちがつことがあつた。それは、ぼくの命があることにいた。

その時、ぼくは二度と大震災はいなくなることを思つた。

地震災

まあは 2年前の 1月17日の未明日だった。
ちょっと目が覚めて、そしたら、カタカタ
カタカタとしてびっくりした
そして、階段を下りたらガラスや、コップ
などがたくさん落ちていた。
それに今とは外に出てみると、かわらが
(い)ぱいわれて落ちていた。
お昼になると、パンを食べた。ちよとした
ちよしんがきた。
そうして夜もよしんがあった。
そして一日がすぎた。もうじしんなんか
せうたはおこってほしくない。

10年後の宝塚市の夢

私は、10年後は、オゾンはかいのない世界
と重かない世界(工場がない世界)今は、へ
いりても世界をこなす。たぬにすぎないと思
う。だから、人は、いなかのほうか、田んぼ
や畑があ、て、それに、体にいい空気まであ
る。それに、地じんがあるのも、人間が
地球に、じくのたぬをまいたからだと思う。
私は、わかままだから、そゆうのは、た
ひれ在い方をしたい。でも、人間、一人
一人が、(ほ)いすてとか、紙はぐすかこに
ビンはビン入れカンはカン入れにしたらいい
と思うし、車は、「なくせ」とわ言ない、た
え、一人一人が、自然をたいせつにしてくれ
ればいいのにな。。。

10年後の宝塚市

10年後は、昔のようにいっぽい森林を増やしこほしいのが一番の夢です。宝塚市の長尾では、植え木の町としらんといりますそれなりに、これ以上都會にならてしまえば、宝塚市は、一生、何かしられる町にはならなくなると思います。宝塚市の長尾の植え木の町としられていますのだから守り続けていってほしいと思っています。それと、もっと自動車が通らないような町にもなってほしいです。自然はかいいもおこしてまで人間が樂にならなければいけないと思うから、もっとほかの、のりものもっともらいでほしく思います。自然は口に出さないだけでも本当は、人間がかつてをするなといいたいと思います。だから、そんな自然をいためる宝塚市にはならないでほしく思います。

10年後、30年後の宝塚市の夢

ぼくは、10年後、30年後の宝塚市はマンションがあまりなく、自然を守って、林をよくふやし、はいきがスをへらす。わけは、ぼくは、こうおもつた。はいきがスなどから自然を二わしているとおもつたそれとマンションとかいっぽいふうにして自然がどうかしていい。それと二の紙もそう、木を切って、それに木をいっぱい切っている。ぼくも人間だけではなくことと思う。昔のときと今のとき(おせんたりてき)にかわっていると思う。(りゆうよ、今はマンションなどたてものがいっぽいたらしく、昔はたん(ほり)いつぱいあるとまう。それと、昔はどううつもいはりいふと思う。今は、はいきがスなどはどううがつが減少しているんだね。とつくづくおもう、から30年後は、自然もいはいはる方がいい)

10年後、30年後の宝塚市

10年後、30年後は今よりも科学が発達していろいろなものがたくさんできていると思う。そして、高層ビルがたくさんコンシェンションもたくさんだ。で大都会になってしまふかもしない。でも緑が減少するのはあまりうれしいことではない。科学が発達して便利になるのはいいけど、緑が減ってしまうと酸素がうすくな、でそのうちに人類が絶滅してしまうかもしれないことは無いとはいえない。

たぶん、できれば緑はあまり減らしたくない。

だから、少し便利になつて緑の量はあまり変わらないのが一番いいと思う。

じしんのこと

今日はおにことおばあ婆でいるじしんといふてはおばあ婆を、だいじなものほんじなるおじがほすろじ、もおきてほんじるおじでじしんだけておじをかくとが死んだいんとはもうぼく死にだるかもしくなりてもこいじをたじしんがきたらもうおじよりもうみんなことひりかたこんどはじかんのかまくらうしなうが生むなりそんなことは無いからたゞおじしかくのものかたでもぼくのかどうお反ちうりえかまとてくそくだ。

10年後、30年後の宝塚市

五年二組

10年後、30年後の宝塚市は、町が癡達して、人口が多くなり、マンションやビルが立ち、都会にかるかもしだい。また、道路がせいいさくされ、車が多くなる。では、歩きがうすくなり、駅前バスターミナルもしだい。そうすると、町をいくとき不便だし、重いから木を生えている都會にならほしい。

家は、トマガ、ヒセウドアで、家がひろく機械が全部付いてくれると思うから、たぶん楽な生活ができると思う。歩くのも、自動工スカラーケートにいに歩かなくとも、自動でいけるかもしだい。いまでは、ハンモにいに治りにくく、涼風が、一週間にしかからず、なあらかもしだい。葉が、すぐきくような物ができるかもしだい。

宝塚も、癡達するか、日本も癡達するかもしだい、癡達してもいいけれど、木とかも、いわばある宝塚市かいじとと思う。

10年後の宝塚市の夢

ぼくは、10年後は、環境のいい都市になつてほしいと思う。でも、きっとぼくは、山までせきて住宅を建てて、自然はかりをするかもしれない。それに、車の数が増えて環境がわるくなるかもしれない。ぼくは、宝塚が遊園地などがない、きれいな街らしい都市になつてほしい。そして、はんざいなどが少なくなるべくほしい。

私は、「復興」とはその震災をふみ台にし、自然と人間が調和し、住みやすい市にすると、いいことだと思います。

自然と人間が調和できる市

今日1月17日は阪神淡路大震災から2年目です。2年前、あのとき人間は大きな打撃を受けました。6千人のお金にはかえれない命を失いました。しかし、自然が大丈夫であつたわけではありません。自然も被害を受けました。

阪神大震災後、水・電気・ガスのない不便な毎日をおくったことを今でも覚えていきます。そのとき、私たちがどれだけいたくなくらしをしていたかが、よくわかりました。そのため、自然をきずつけていることもわかりました。

「復興」といえば、車が阪神淡路大震災前のようにあふれ、ビルやマンションがち並ぶというようになっている人がいます。それで人間が満足しても、自然は納得しないでしょう。だって、人は自分のことばかりで自然のことなんか気にしていないのですから。

□□□ 4-35 20×20

三十年後の宝塚はみんな楽しく、可
けあい住みよい市しだいと思ひます。坂
設住宅をなぐりいとからです。坂設に住んで
いる人たちがせんせん自分の家でせんせん
「へてほじ、てす。お^はのあくろりい、坂しん
のあとをせんせん、緑などとふやして三十分
後の人がかりが、たかく一〇と言ふべら、
「さとじ、てきこけをとん。そくかわしたか
本縁といふはてじなうとけません。
「お、みかで宝塚を教へい住みよい
じまつ。」

○

2年前の大レインさい

1月17日に大きなレインさいが開催されました。レインが
おきてミンソントがかほとんどこわれてな
くなったひとも多い。レインでいえがこわれ
て仮設です人居るひとも多い。またかわりそ
うのねいえがこわれて仮設です人居るひと
がいちばんかおりそうとあります。レスがあた
っててこりくひと多い。仮設はなんねんか
しかおれない。仮設のとなりにいえがどんと
んつくつづく。そこにはすんだらいいのにど
してこのれいえにすまないのか。でもばかく
にしらんひとが多い。でも仮設はなんにもない
レ遊、物がせんせんないからいふもない。

□□□ 4-35 20×20

大震災の経験は、すごいや！

1月17日

あれは2年前の5時46分だった。家には全員ねでいた。ドッカシーガラガラがシャーンと音がないお母さんが私達の所にきてた。じょうぶと言った。お兄ちゃんはたんすの下じきになった。けどぬけたからよかったです。下に下りるとマンションの人のがけがをしていて病院へ運ばれた。私たちの家は、かぎが私のしかだせなくてこまっていた。もしかせがこれなかつたらどうしてたんだろう。お父さんが、1月16日に滋賀の方に仕事の関係だ。お昼ごろにも予震があった。6時ごろになると東公民館へ行こうとしたらお父さんが帰ってきた。それから東公民館に行ったらたくさん的人がいた。友達がいた。トイレは水かはいでいるバケツで流します。2日目が立っても同じ生活です。3日目家に帰っておばあちゃんちに行つた。久しぶりにおふろに入つたので気持ちがよかったです。ごはんもめいいいぱいたべれました。

復興へのねがい、10年後の宝塚市の夢

わたしは、マンションでひ害にあって、工事も終わってちゃんととした暮らしをしています。でもまだ、仮設住宅で暮らしている人がたくさんいるので、その人達がちゃんとした家で暮らせるのが私の10年後の夢です。

それから、復興へのねがいは、今でも苦しんでいる人が、その人たちが、苦しみから、のかれられることが復興へのねがいです。

わたししがけいけんした地震では、わたしよりもっとひどいひ害を受けた人の気持ちまでには分かりません。けれど、同じ地震にあつた人なので、努力はできると思います。そして、10年後の宝塚は、きっと仮設住宅が消えていて、かがやいていると思います。

わたくしたちで、そんな町にしたいです。

「地震災のけいけん」

ぼくは、しんさいの日、5時ぐらいにおきていて。大じょう夫だった。でも、もしふくんをかぶっていなかつたら、でんきがさしていたかもしいね。たんすやテレビがポルターがイス人みたいにとんでいた。ぼくの頭の上からんちがおちてきた。すごくこわかった。ちしんがおさまって下といくとガラスだらけだった。入り口へをはいで、おもてにててみた。家や地面がぼろぼろだった。

「10年後の宝塚市」

10年後の宝塚市は大地震がおこったおれかい家やマンションができるかもね。みんな地震がおきたのは時間が自然破壊してるからだと言った。せっかく宝塚市は緑が多い戸併んだから緑を大切にしてほしいと思った。10年後の宝塚市はきれいな市にしてほしい。ぼくは緑がなくなる宝塚市はきういた。10年後の宝塚市は大地震がおきてても家やマンションはこわれないよううぶね家ができるほしい。火ひもおこらない完ぺきな家やマンションができるかなあ。とても楽しみだなあ。でも大地震がおこるのさういやだなあ。

んなが実っていて、自然といっしょにいて、動物達とみんなで遊んでいる。毎日楽しきて夢が生まれ、不幸な人なんていなくて、みんなで生きていいも、いつまでもたえる事のない幸せ、あこがれるな。だけどこんな世の中だと、人は努力する事を忘れてしまうよ。努力をしてこそものは美しく、かがやくんだ。だから天国のような世の中は望まない。ただ、みんな生きていよかったですと甩う世の中じらいは、つくれると思うな。

宝塚市への願い事

10年後、30年後の宝塚市への夢は、みんなが楽しく笑える所へしたいと思います。その願いはみんな同じだと思います。だけど、みんなそう思っているのになんで、そうならなかつたんだろう?それは、みんながあきらめてしまつたからだ。最初は数人でみんなにぶつけっていて、だけど地域全員の人の気は変わらか、たんだる。そして一人二人とあきらめていったんじゃないかな。夢は夢で終わるのだろうか。だけど今回は夢で終わらしたくないな。夢を現実にする力:私達にもあるはずだ。夢を見る。そのたびに現実が生まれる私達には夢を現実に近づけるくらいの力はあるはずなんだ。あきらめなければ。

今の世の中、宝塚市は、悲しむ人、苦しむ人、泣く人が多すぎる。いつの時代もそればたえる事がない。だから私は、みんなが泣かなくていい宝塚市にしたいと思つたんだ。み

自重力

10年後の宝塚市の夢

宝塚市は、とても大きな震災がありました。家が全かいの所も、ありました。そして、一番よくなつたのが家族違うしなつた所です。けど、2年目にして、また、反設に住んでいる人がります。そして、10年後の宝塚は、家族をうしなつてしまも、なくなり、反設の人たちは、家を立てて、そこには住んでもらう。そして、デパートも、たてて、よりいいそら、住みやすぐしてしまった。そういうふがいが10年後の宝塚市の夢たとえった。10年後には、できなかつたら、15年、20年後でもいい、できるだけ早く、宝塚市の人に、すくつあげたい。

「10年後30年後の宝塚市」

30年ごと、都会のになつてほしこと思ひます。たつて重京は、い、ば、い、古、古、や、テ、ダ、ニ、一、ランド、や、ビル、せ、い、け、い、た、こ、れ、に、そ、か、や、ね、が、ら、向、海、市、を、東、京、み、と、い、ば、な、一、コ、ロ、リ、ヒ、と、風、ハ、ト、タ、け、セ、ト、が、う、え、た、ら、コ、ミ、や、ま、の、出、す、は、い、き、ガ、ス、と、か、自、然、に、和、諧、を、う、け、る、から、み、ん、な、お、泣、意、レ、ト、エ、テ、シ、は、コ、ト、が、二、れ、い、れ、て、を、は、あ、り、ロ、ラ、び、り、上、う、に、レ、テ、は、し、ビ、思、、レ、ミ、く、た、だ、か、む、せ、と、見、う、を、れ、け、本、か、な、い、小、さ、べ、づ、大、が、物、か、た、ち、車、か、物、い、か、ち、事、物、に、い、く、と、き、車、サ、ニ、く、か、ら、い、や、だ、け、い、ほ、く、活、に、せ、や、か、の、は、う、が、い、い、と、思、い、す、